

地域おこし協力隊新聞

今年度の協力隊新聞第一号です。
よろしくお願いいたします。

◆永田隊員◆

みなさん、こんにちは。地域おこし協力隊3年目の永田幸太郎です。早いもので大鹿村にお世話になって、まる2年がたちました。楽しい時間はあっという間に過ぎていってしまふものだなあと感じています。今年の春は寒いなあと思っていたら、あつという間に梅も桜も桃も咲いてしまい、ところが桜が雪景色になってしまったり、不思議な春を体験しました。今も梅雨入りの発表がされたと思ったらあんまり雨が降りません。けれども、大鹿の山々は美しい緑でいっぱい、豊かな田園風景が広がっています。



美しい季節の移り変わりの中、村のたくさんの人に親切にしてください、たのしく活動させて頂いています。いつもありがとうございます。
ごさいます。
今年も福祉の活動を中心に活動しています。ヘルパー2級のスクーリングも終了し、専門的な知識を学ぶこともできました。



火曜日と木曜日に「まめ大福」、水曜日はデイサービスセンターの2階で「ひまわり会」のお手伝いをしています。まめ大福では、利用者さんの送迎、お弁当配達、レクレーション進行などをやっています。

ひまわり会では、利用者さんの送迎とレクレーション進行、その他雑用係をやっています。先日は深ヶ沢へクリンソウを見に行ったり、南アルプスの開山式にも行ってきました。それから、村の保健師さんとの「安心サポート」も続けています。

今年には村の先輩達に教えていただきながら、お米作りに挑戦しています。田んぼを起したり、代掻きをするときは機械を貸していただいたのですが、「お田植え」は子供たちも交えて「手植え」でやってみました。村のおばあちゃんやおじいちゃんに「お田植え」の話をするとても喜んで「昔はみんな手で植えたんな」と当時のことを教えてくれました。まだまだ、知識も経験も足りませんが、がんばってやっていきたいと思っています。

これからもよろしくお願いします。

◆竹岡隊員◆

こんにちは、木工体験交流施設カスガイの竹岡です。

過ごしやすい季節となり、村内の団体のお客様にカスガイを利用していただく機会も増えてまいりました。5月には子供くらぶバンビさんの母の日企画で鍋敷き教室とバターナイフ教室を開催しました。子供たちはすぐに飽きてしまうのではないかと心配していましたが、作り始めると予想外の集中力で最後までやり遂げてくれました。

また、6月8日には大鹿保育所保護者会さんの企画で親子木工体験教室を開催しました。

主に保育園児が対象ということで刃物は使わず、木を輪切りにしたものにこちらで用意した木のパーツをボンドでくっつけて、創作ペンダント

を作りました。こちらもなかなかの集中力と想像力で、みんなそれぞれに思い思いの作品を作り上げました。



大鹿村の手仕事展

住所：大鹿村鹿塩 2603-1

TEL：0265-39-2616

(竹岡)

日時：6/7 金～6/23 日

9時30分～16時30分

定休日：月・水

手ぬぐい

『くうかん工房』

天然石アクセサリー

『バクティ』

陶芸

『日中月心』

染め・織り

『伊東 直子』

手紡ぎ・手編み

『大鹿村授産所』

木工体験交流施設

『KASUGAI』

- 9日 紡ぎ・陶器
16日 手ぬぐいソーイング
天然石プレスレット
23日 糸ノコ体験教室
(通常の木工教室は毎日開催)

やってみまいか!
手作り体験・ワークショップ
毎週日曜日開催

会場 大鹿村木工体験交流施設
KASUGAI (カスガイ)
※鹿塩地区館 横

只今カスガイでは大鹿村の手仕事展と題し、村内在住の作家さん6組で展示会を行っております。今まで村内では展示会をするのに適した場所が少なく、村外での展示会を行ってききましたが、このたびカスガイの展示・交流スペースの整備が整い、展示会を行うに相応しい場所ということで、カスガイでの展示会が実現いたしました。村外の方に大鹿に来ていただき楽しんでいただくのはもちろんのこと、村内の方でカスガイに行ってみたいけど何かのきっかけがないと行き辛いな...と思っていた方も、この機会にぜひ足を運んで頂けたらと思います。

◆大谷隊員◆

こんにちは。協力隊も2年目に入りました大谷です。今年は遅霜に空梅雨と農産物にとっては生育が難しい気候となっております。そんな先月はワラビやコゴミなどの山菜が直売所に並び山の春を感じることができました。山菜といえば飯田や松川の方では4月の末頃からタラの芽やタケノコなど山菜が直売所の一番目立つ所に山と積まれていたのを目にしました。そんな風景を見て来た観光の方などは直売所で「タケノコはないの?」と大鹿村ではまだワラビの芽も出てきていないような季節によく聞かれました。村に住んでいる人にとっては下の方と気候が違い山菜の収穫時期が遅いのは当たり前の感覚ですが、村を訪れる人にとっては車で30分しか離れていない場所では気候が異なっているというのは想像できないことなんですね。かく言う私も平野育ちのため車で2〜3kmしか離れていない村内で雨の所、雪の所と天気が違う現象がいまだに不思議です。

6月に入り大鹿村の畑もそろそろ緑が鮮やかになってきたので、6月16日(日)から塩の里広場にて朝市が始まります。昨年と同様に朝8時から昼頃まで、毎週日曜日開催予定です。大鹿村の野菜や果物の美味しさは食べてみないとわからない!ということですので今年には1度「食べて楽しむ」を目的としたイベントの開催や、お手頃「百円コーナー」の設置など昨年以上に朝市を盛り上げていきます。イベントは4月に大鹿村のよもぎを使って餅つき、5月にサンショとクルミの味噌で「へいもち作りを行いました。6月は特産品のブルーベリーが収穫時期にさしかかるといふことで、「ブルーベリーを味わう」という内容でジャムやジュースなどを使った簡単なおやつ作りを考えています。6月23日(日)朝9時半〜塩の里広場にて参加無料で行いますので、村内の方も村外の方も大歓迎ですのでぜひ気軽に足を運んでみてください。



次回は夏ごろ
発行予定です